

1.	②	11.	①	21.	①	31.	①	41.	①
2.	③	12.	①	22.	④	32.	③	42.	③
3.	④	13.	④	23.	④	33.	④	43.	②
4.	②	14.	①	24.	②	34.	④	44.	④
5.	①	15.	③	25.	①	35.	①	45.	③
6.	④	16.	②	26.	①	36.	②	46.	③
7.	③	17.	②	27.	①	37.	①	47.	②
8.	②	18.	③	28.	②	38.	②	48.	②
9.	③	19.	③	29.	③	39.	④	49.	④
10.	④	20.	④	30.	①	40.	④	50.	③

1.

解答 ②

【解説】

正解は②の`extremely`で、「極度に、非常に」という意味の副詞です。形容詞や副詞を強調し、その程度が並外れていることを示します。`very`よりもはるかに強い意味を持ちます。`The weather in this region can be extremely cold in winter.`（この地域の天気は冬には極度に寒くなることがある）。他の選択肢は、①`exactly`が「正確に」、③`externally`が「外部に、外見上」、④`extensively`が「広範囲に」という意味です。

◆補足：`extremely`は形容詞`extreme`（極度の、過激な）の副詞形です。`extreme sports`（エクストリームスポーツ）のように使います。`extremely`は、ポジティブな意味でもネガティブな意味でも、様々な形容詞を強調するのに使える便利な単語です。

2.

解答 ③

【解説】

正解は③の`fill out[in]`～`で、「（書類の空欄）に書き込む、記入する」という意味です。申込用紙、アンケート、税関申告書などの空欄に必要な情報を書き入れる行為を指します。`You need to fill out this form to apply for a passport.`（パスポートを申請するには、この用紙に記入する必要があります）。他の選択肢は、①`fill up`～`が「～（容器など）を満たす」、②`hand in`～`が「～を提出する」、④`write down`～`が「（忘れないようにメモとして）～を書き留める」という意味です。

◆補足：アメリカ英語では`fill out`、イギリス英語では`fill in`がより一般的に使われる傾向がありますが、どちらを使っても通じます。`fill in the blanks`で「空欄を埋める」という問題形式でよく見かける表現ですね。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④の`quality`で、「質、品質」を意味します。製品やサービスの良し悪しの度合いや、物事の特徴を指します。`Quality is more important than quantity.`（量より質が重要だ）ということわざは有名ですね。他の選択肢は、①`quantity`が「量」（`quality`の対義語）、②`equality`が「平等」、③`ability`が「能力」という意味です。

◆補足：`quality`は形容詞として「質の良い、高級な」という意味でも使われます。`This is a quality product.`（これは高品質の製品です）。コロケーションとしては`high quality`（高品質）、`poor quality`（低品質）、`quality control`（品質管理）などがあります。

4.

解答 ②

【解説】

正解は②「かなり多くの～」です。`quite a few`～は「相当数の～、かなりの数の～」という意味で、予想よりも数が多いことを示す表現です。`a few`（いくつかの）という言葉が入っていますが、`quite`が付くことで意味が強まり、「多い」というニュアンスになります。`There were quite a few people waiting in line.`（かなり多くの人々が列に並んで待っていた）。①「ほとんど～ない」は`very few`、③「いくつかの～」は`a few`、④「ほんの少しの～」は数えられない名詞に対して`a little`を使います。

◆補足：`quite a few`は数えられる名詞の複数形と共に使います。数えられない名詞に対して「かなり多くの」と言いたい場合は`quite a little`や`quite a bit`を使います。`He spent quite a bit of money on his hobby.`（彼は趣味にかなりのお金を使った）。`few`と`a few`の意味の違いと合わせて、しっかり覚えておきましょう。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①「日の出」です。`sunrise`は、`sun`（太陽）と`rise`（昇ること）が組み合わさってできた名詞で、文字通り太陽が昇る時間やその光景、夜明けを指します。`We climbed the mountain to see the beautiful sunrise.`（私たちは美しい日の出を見るためにその山に登った）。②「日の入り」は`sunset`で、`sunrise`の対義語です。③「正午」は`noon`、④「真夜中」は`midnight`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`sunrise`と`sunset`は対で覚えておくと便利です。「～の前に」を意味する`before`を使って、`I want to leave before sunrise.`（私は日の出前に出発したい）のように言うことができます。`The sun rises in the east and sets in the west.`（太陽は東から昇り、西に沈む）という文は、理科の知識としても英語の知識としても重要です。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④「多様性、種類」です。`variety`は、様々な異なる種類のものが存在すること、つまり「多様性、変化」を意味する名詞です。`The store offers a great variety of products.`（その店は非常に多様な品揃えを提供している）。①「真実」は`verity`や`truth`、②「空虚、虚栄心」は`vanity`、③「価値」は`value`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`a variety of`～の形で「様々な種類の～」という決まった言い方で使われることが非常に多いです。この表現は`various`（様々な）とほぼ同じ意味で使えます。`a wide variety of`で「多種多様な～」となります。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③の`actually`で、「実は、本当は、実際に」という意味の副詞です。相手の予想とは違う事実を述べたり、会話で何かを強調したりする際に使われます。`He seems unfriendly, but actually he is a very kind person.`（彼はとっつきにくそうに見えるが、実はとても親切な人だ）。他の選択肢は、①`actively`が「活動的に」、②`accurately`が「正確に」、④`annually`が「毎年」という意味です。

◆補足：`actually`は`in fact`とほぼ同じ意味で使えますが、`actually`の方がより口語的で会話の中で頻繁に使われます。形容詞形は`actual`（実際の）です。`the actual cost`（実際の費用）。

8.

解答 ②

【解説】

正解は②の`fit`で、動詞として「(サイズ・形が)～に合う、適合する」、形容詞として「健康な、体調が良い」という二つの重要な意味があります。動詞の例: `This jacket fits me perfectly.`（このジャケットは私にぴったり合う）。形容詞の例: `You look very fit. Do you work out?`（とても健康そうですね。運動しているのですか？）。他の選択肢は、①`fill`が「～を満たす」、③`fix`が「～を修理する」、④`find`が「～を見つける」という意味です。

◆補足：`suit`も「～に合う」という意味ですが、`fit`がサイズや形が物理的に「合う」ことを指すのに対し、`suit`は色やスタイルがその人に「似合う」ことを指します。コロケーションとしては`get fit`（健康になる、体を鍛える）や`keep fit`（健康を保つ）、`fitness club`（フィットネスクラブ）などがあります。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③の`tournament`で、「トーナメント、選手権大会」を意味します。多くの選手やチームが参加し、勝ち抜き方式などで優勝を争う大きな大会を指します。`He will compete in the tennis tournament next week.`（彼は来週、そのテニストーナメントに出場する）。他の選択肢は、①`tour`が「旅行、ツアー」、②`moment`が「瞬間」、④`monument`が「記念碑」という意味です。

◆補足：テニスやゴルフの四大大会や、eスポーツの大会など、様々なスポーツや競技で`tournament`という言葉が使われます。`a knockout tournament`で「勝ち抜きトーナメント」となります。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④「正確に、まさしく」です。`exactly`は副詞で、誤りやずれが全くなく、完全に正しいことを強調します。`The journey took exactly three hours.`（その旅は正確に3時間かった）。また、相手の言ったことに対して「その通り！」と強く同意を示す返事としても単独で使われます。①「極度に」は`extremely`、②「外部に」は`externally`、③「広範囲に」は`extensively`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`exactly`は形容詞`exact`（正確な、厳密な）の副詞形です。`not exactly`で「必ずしも～というわけではない」という部分否定の表現になります。`It's not exactly what I wanted, but it's close.`（私が欲しかったものと全く同じというわけではないが、近いものだ）。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①「前方に、先に」です。副詞の`ahead`は、場所的に「前方に」あることや、時間的に「先」であること、あるいは進捗などが「進んでいる」ことを示します。`The car ahead of us suddenly stopped.`（私たちの前方の車が突然止まった）。`She is always one step ahead of her rivals.`（彼女は常にライバルの一步先を行っている）。②「頭上に」は`overhead`、③「海外に」は`abroad`、④「ほとんど」は`almost`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`ahead of ~`の形で「～の前に、～より進んで」という前置詞句としてよく使われます。`We finished the project ahead of schedule.`（私たちは予定より早くプロジェクトを終えた）。また、`go ahead`という表現は「どうぞ、お先に」と相手に許可を与える際や、「(計画などを) 進める」という意味で頻繁に使われます。

12.

解答 ①

【解説】

正解は①「その後、あとで」です。副詞の`afterward`は、ある出来事が起こった後の時点を指します。`Let's go to the library first, and have lunch afterward.`（まず図書館に行って、その後で昼食にしよう）。②「前方に」は`ahead`、③「どこでも」は`anywhere`、④「とにかく」は`anyway`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：イギリス英語では`afterwards`と`-s`を付けて使われることが一般的です。意味は`afterward`と全く同じです。`after`も「後で」という意味の副詞として使えますが、`afterward(s)`の方がよりフォーマルな響きがあります。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④の`spare`で、形容詞として「予備の、余分の」、動詞として「(時間・お金など) を割く、分け与える」という二つの重要な意味があります。形容詞の例: `It's always a good idea to have a spare key.`（予備の鍵を持っておくのは良い考えだ）。動詞の例: `I'm sorry, I can't spare any more time for this.`（すみません、これ以上このために時間を割くことはできません）。他の選択肢は、①`square`が「正方形」、②`scare`が「～をおびえさせる」、③`share`が「～を共有する」という意味です。

◆補足：`spare time`で「余暇、自由時間」を意味します。`What do you like to do in your spare time?`（余暇には何をするのが好きですか?）。`spare part`で「予備の部品」となります。

14.

解答 ①

【解説】

正解は①「A でも B でもない」です。`neither A nor B`は、二つの選択肢の両方を否定する表現です。この表現自体が否定の意味を持つため、文中に別途`not`などの否定語を入れる必要はありません。`I have neither the time nor the money to travel abroad.`（私には海外旅行をする時間もお金もない）。②「A か B のどちらか」は`either A or B`、③「A と B の両方」は`both A and B`、④「A だけでなく B も」は`not only A but also B`です。

◆補足：`neither A nor B`が主語になる場合、動詞はより近い方の B の形に一致させるのが原則です。`Neither he nor his friends were at the party.`（彼も彼の友達も、パーティーにはいなかった）。`neither`は`not either`（どちらも～ない）が一つになった単語と考えると理解しやすいでしょう。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③の`loud`で、「(音・声が) 大きい、うるさい」という意味の形容詞です。`The sound of the alarm was very loud.`（警報の音はとても大きかった）。他の選択肢は、①`proud`が「誇りに思う」、②`low`が「低い」（音量が小さい場合にも使う）、④`cloud`が「雲」という意味です。

◆補足：副詞形は`loudly`（大声で）です。`Please speak more loudly.`（もっと大きな声で話してください）。対義語は`quiet`（静かな）や`soft`（(音が) 柔らかい、小さい）です。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②の`playground`で、「遊び場、運動場」を意味します。`play`（遊ぶ）と`ground`（地面、場所）が組み合わさった単語で、子供たちが遊ぶためのブランコや滑り台などの遊具がある公園や、学校の校庭などを指します。`The hotel has a playground for children.`（そのホテルには子供向けの遊び場がある）。他の選択肢は、①`background`が「背景、経歴」、③`ground`が「地面、土地」、④`underground`が「地下（の）」という意味です。

◆補足：`playground`は、`school playground`（学校の運動場）や`a children's playground`（児童公園）のように、どのような場所かを示す語と組み合わせて使われることもあります。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②の`reply`で、名詞として「返事、応答」、動詞として「返事をする、応答する」という二つの意味を持ちます。質問や手紙、メールなどに対して答えを返すことを表します。`I sent him an email last week, but I haven't received a reply yet.`（先週彼にメールを送ったが、まだ返事を受け取っていない）。他の選択肢は、①`rely`が「～に頼る」、③`relay`が「～を中継する」、④`rally`が「集会」という意味です。

◆補足：動詞として使う場合、`reply to`～で「～に返事をする」となります。類義語の`answer`も「答える」ですが、`reply`はよりフォーマルな文脈や、手紙・メールといった通信に対する返信で好まれる傾向があります。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③の`ancient`で、「古代の、大昔の」という意味の形容詞です。非常に遠い過去の時代、特に文明の初期の時代を指します。`I'm interested in ancient Roman history.`（私は古代ローマ史に興味がある）。他の選択肢は、①`recent`が「最近の」、②`modern`が「現代の」、④`anxious`が「心配して、切望して」という意味です。

◆補足：`ancient civilization`（古代文明）や`ancient ruins`（古代遺跡）といったコロケーションでよく使われます。`ancient`の対義語は`modern`（現代の）です。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③「設備、機材、用具」です。`equipment`は、特定の活動や目的のために必要となる、機械、装置、道具類を集合的に指す名詞です。`The gym is new and has the latest equipment.`（そのジムは新しく、最新の設備を備えている）。①「環境」は`environment`、②「雇用」は`employment`、④「興奮」は`excitement`です。

◆補足：`equipment`は数えられない名詞（不可算名詞）として扱われるのが基本です。そのため、`an equipment`や`equipments`という形にはなりません。「一つの機材」と言いたい場合は`a piece of equipment`のように数えます。動詞形は`equip`（～に備え付ける）です。`be equipped with`～`で「～が備わっている」となります。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④の`wood`で、主な意味が二つあります。一つは、数えられない名詞として、家具や建物の材料となる「木材」です。もう一つは、数えられる名詞（通常は複数形の`woods`）として「森、林」です。`This table is made of solid wood.`（このテーブルは無垢材でできている）。`We took a walk in the woods.`（私たちは森を散歩した）。他の選択肢は、①`would`が助動詞、②`word`が「単語」、③`wool`が「羊毛、ウール」という意味です。

◆補足：「森」を意味する`forest`と`woods`の違いとして、一般的に`forest`の方がより広大でうっそうとした森林を指す傾向があります。`a piece of wood`で「木片」を意味します。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①「何も～ない、誰も～ない」です。`none`は代名詞で、人や物の数がゼロであることを示します。`no one`（誰も～ない）や`not any`（少しも～ない）を一つにまとめた言葉と考えることができます。`"How many tickets are left?" "None."`（「チケットは何枚残っていますか？」「一枚もありません」）。`None of my friends could come to the party.`（私の友人たちは誰もパーティーに来られなかった）。②「いくつかの」は`some`、③「すべての」は`all`、④「ほとんどの」は`most`です。

◆補足：`None of the + 複数名詞`が主語になる場合、動詞は単数形（フォーマル）でも複数形（インフォーマル）でも使われますが、単数形の方がより伝統的で安全な使い方です。`None of the information is correct.`（その情報はどれも正しくない）。

22.

解答 ④

【解説】

正解は④の`chance`で、主に二つの意味があります。一つは、何かをする良い「機会、チャンス」です。もう一つは、何かが起こる「可能性、見込み」です。`If I have a chance, I'd like to visit Spain.`（機会があれば、スペインを訪れたい）。`There is a 30% chance of rain today.`（今日の降水確率は30%です）。他の選択肢は、①`change`が「変化」、②`choice`が「選択」、③`charge`が「料金、責任」という意味です。

◆補足：`opportunity`も「機会」と訳されますが、`opportunity`の方がよりフォーマルで、努力して得るべき「好機」というニュアンスが強いです。`chance`はより口語的で、「偶然の機会」という意味合いでも使われます。`by chance`で「偶然に」という熟語になります。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「いたずら、たくらみ、手品」です。名詞の`trick`は、人をだますための「策略、たくらみ」や、子供じみた「いたずら」、観客を楽しませる「手品、芸当」など、複数の意味を持ちます。`He taught me a simple card trick.`（彼は私に簡単なカードの手品を教えてくださいました）。①「走路」は`track`、②「トラック」は`truck`、③「厚い」は形容詞の`thick`です。

◆補足：動詞の`trick`は「～をだます」という意味です。`He tricked me into believing his story.`（彼は私をだまして彼の話を信じ込ませた）。ハロウィーンの決まり文句`Trick or treat!`（お菓子をくれなにと、いたずらするぞ!）で馴染み深い単語ですね。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②の`involve`で、「～を含む、伴う」または「(人) を巻き込む、関わらせる」という意味の動詞です。ある活動が必要な要素として何かを含んでいることや、人が事件や活動に関係していることを示します。`Any job involves some degree of stress.` (どんな仕事もある程度のストレスを伴う)。`I don't want to get involved in their argument.` (私は彼らの口論に巻き込まれたくない)。他の選択肢は、①`invite`が「～を招待する」、③`invent`が「～を発明する」、④`invade`が「～に侵入する」という意味です。

◆補足：`be involved in ~`の形で「～に関わっている、参加している」という受け身の形で使われることが非常に多いです。`He is deeply involved in local politics.` (彼は地元の政治に深く関わっている)。名詞形は`involvement` (関与、関わり) です。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①の`teammate`で、「チームメート、チームの仲間」を意味します。同じスポーツチームや、仕事上のプロジェクトチームなど、共通の目標に向かって活動するグループのメンバーを指します。`She has a good relationship with all her teammates.` (彼女はチームメート全員と良好な関係を築いている)。他の選択肢は、②`classmate`が「級友、クラスメート」、③`roommate`が「同室者、ルームメート」、④`playmate`が「遊び仲間」という意味です。

◆補足：`mate`は「仲間、友達」を意味する口語的な言葉で、特にイギリスやオーストラリアでよく使われます。`team` (チーム) と `mate` (仲間) が組み合わさった単語で、成り立ちからも意味が推測しやすいですね。

26.

解答 ①

【解説】

正解は①「ふるまい、行動」です。`behavior`は、人や動物の「ふるまい、行動、態度、行儀」を意味する名詞です。特定の状況下での行いや、その人の普段の行いを指します。`Good behavior is expected from all students.` (すべての生徒に、良いふるまいが期待される)。②「信念」は`belief`、③「美しさ」は`beauty`、④「勇気」は`bravery`や`courage`が適切な単語です。

◆補足：動詞形は`behave` (ふるまう) です。`Please behave yourself at your grandparents' house.` (おじいさんの家では行儀よくしなさい)。イギリス英語では`behaviour`と綴るのが一般的です。`behavior`は数えられない名詞として扱われます。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「運動選手」です。`athlete`は、スポーツ、特に身体的な技能、強さ、持久力などを競う「アスリート、運動選手」を意味する名詞です。`She is a top athlete who has won many medals.`（彼女は多くのメダルを獲得したトップアスリートだ）。②「芸術家」は`artist`、③「俳優」は`actor`（男性）や`actress`（女性）、④「建築家」は`architect`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：形容詞形は`athletic`（運動の、運動が得意な）です。`an athletic build`（がっしりした体格）。「陸上競技」そのものは`athletics`（イギリス英語、複数扱い）や`track and field`（アメリカ英語）と言います。

28.

解答 ②

【解説】

正解は②の`participate`で、「（活動などに）参加する」という意味の動詞です。`participate in ~`の形で使われ、イベントや議論、スポーツなどに、一員として積極的に関わることを表します。`Everyone is welcome to participate in the festival.`（誰でもそのお祭りに参加するのを歓迎します）。他の選択肢も「参加する」と訳せますが、①`attend`は会議などに「出席する」、③`join`はクラブや組織に「加わる」、④`enter`は競技会などに「参加登録する」という意味で、それぞれ目的語を直接とる他動詞です。`in`を伴うのは`participate`です。

◆補足：名詞形は`participation`（参加）と`participant`（参加者）です。`participate in`は`take part in`とほぼ同じ意味で、よりフォーマルな響きがあります。

29.

解答 ③

【解説】

正解は③の`track`で、名詞として陸上競技場の「トラック」や、森などの中の「小道、踏み跡」、動詞として「～の跡を追う、～を追跡する」という二つの主な意味があります。名詞の例: `She is the fastest runner on the track team.`（彼女は陸上部で最も速い走者だ）。動詞の例: `The satellite tracks the movement of clouds.`（その衛星は雲の動きを追跡している）。他の選択肢は、①`truck`が「トラック」、②`trick`が「いたずら、策略」、④`trunk`が「（木の）幹、トランク」という意味です。

◆補足：`keep track of ~`で「～の動きを常に把握している」、`lose track of ~`で「～を見失う」という重要な熟語になります。また、CDなどに収録されている「曲」も`track`と呼びます。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を心に留めておく」です。`keep ~ in mind`は、「～を覚えておく、考慮に入れておく」という意味の熟語です。何かを決定したり行動したりする際に、重要な情報やアドバイスを忘れないように意識しておくことを表します。`Please keep in mind that you are representing our school.`（あなたが私たちの学校を代表していることを心に留めておいてください）。②「～を秘密にしておく」は`keep ~ a secret`、③「～するのを我慢する」は`keep from -ing`、④「考え直す」は`change one's mind`が適切な表現です。

◆補足：`keep`の代わりに`bear`を使って`bear ~ in mind`とすることもでき、ほぼ同じ意味ですが、よりフォーマルな響きがあります。`it`を目的語にして`Please keep it in mind.`（その点を心に留めておいてください）の形でよく使われます。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①の`explore`で、「～を探検する、探求する」という意味の動詞です。未知の場所を調査したり、あるテーマについて深く調べたりすることを表します。`The team will explore the deep sea.`（そのチームは深海を探検する予定だ）。`We need to explore new ways to save energy.`（私たちはエネルギーを節約する新しい方法を探求する必要がある）。他の選択肢は、②`explode`が「爆発する」、③`export`が「～を輸出する」、④`expose`が「～をさらす、暴露する」という意味です。

◆補足：名詞形は`exploration`（探検、探求）、探検家は`explorer`です。コロケーションとしては`explore a possibility`（可能性を探る）や`explore a new market`（新しい市場を開拓する）などがあります。

32.

解答 ③

【解説】

正解は③の`change one's mind`で、「考えを変える、決心を変える」という意味です。`one's`の部分には`my`、`your`、`his`などの所有格が入ります。一度決めたことや、持っていた意見を変更することを表します。`I was planning to go camping, but I changed my mind because of the weather.`（キャンプに行く計画だったが、天気のため考えを変えた）。他の選択肢は、①`make up one's mind`が「決心する」、②`lose one's mind`が「正気を失う」、④`speak one's mind`が「思っていることを率直に言う」という、それぞれ`mind`を使った重要な表現です。

◆補足：`change one's mind about ~`で「～についての考えを変える」となります。`Nothing will make me change my mind.`（何があっても私は決心を変えない）。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④の`attraction`で、「魅力」や「人を引きつける場所・もの」を意味します。人や物の魅力そのものや、観光名所、遊園地の乗り物などを指します。`The main attraction of the festival is the parade.`（その祭りの主な呼び物はパレードだ）。他の選択肢は、①`attention`が「注意、注目」、②`action`が「行動」、③`auction`が「競売、オークション」という意味です。

◆補足：`attraction`は動詞`attract`（～を引きつける、魅了する）の名詞形です。形容詞形は`attractive`（魅力的な）です。`a tourist attraction`で「観光名所」という決まった言い方になり、旅行の文脈で頻出します。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④の`attend`で、「～に出席する、～に通う」という意味の動詞です。会議、授業、結婚式、教会などの公式な集まりに出ることや、学校などの場所に定期的に通うことを表します。`All members are required to attend the annual meeting.`（全メンバーが年次総会に出席することが求められる）。他の選択肢は、①`intend`が「～するつもりである」、②`extend`が「～を延長する、伸ばす」、③`pretend`が「～のふりをする」という意味です。

◆補足：名詞形は`attendance`（出席、出席者数）や`attention`（注意、注目）です。`Perfect attendance`で「皆勤賞」となります。`attend to ～`となると、「～の世話をする、～に対応する」という全く違う意味になるので注意が必要です。

35.

解答 ①

【解説】

正解は①「眺め、景色、意見」です。名詞の`view`は、主に二つの意味があります。一つは、特定の場所から見える「眺め、景色、光景」です。もう一つは、物事に対する「意見、見解」です。`We have a beautiful view of the lake from our room.`（私たちの部屋からは湖の美しい眺めが見える）。`He has a different view on the issue.`（彼はその問題について異なる見解を持っている）。②「訪問」は`visit`、③「復習、批評」は`review`、④「血管」は`vein`です。

◆補足：`view`と`scenery`はどちらも「景色」と訳せますが、`scenery`が地域全体の「風景」を指すのに対し、`view`は特定の地点からの「眺め」を指します。`point of view`で「観点、視点」。動詞の

`view`は「～を…と見なす」という意味で使われます。`I view this as a great opportunity.`（私はこれを絶好の機会と見なしている）。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「～に取って代わる」です。`take the place of ~`は、「～の代わりをする、～の地位や役割を引き継ぐ」という意味の熟語です。人や物が、別のものの役割を果たすことを表します。`E-mails have largely taken the place of traditional letters.`（電子メールが、大部分において従来の手紙に取って代わった）。①「（物理的に）場所を取る」は`take up space`、③「～に参加する」は`take part in ~`、④「～の世話をする」は`take care of ~`です。

◆補足：この表現は動詞`replace`とほぼ同じ意味で使うことができます。`Nothing can take the place of family.`（家族に取って代わられるものはない）のように、かけがえのない存在について述べる際にも使われます。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①「オリンピック」です。`Olympics`は、4年ごとに開催される世界的なスポーツの祭典を指します。通常、`the`を付けて`the Olympics`や、`the Olympic Games`という形で使われます。`Many athletes dream of competing in the Olympics.`（多くのアスリートがオリンピックで競うことを夢見ている）。②「世界選手権」は`World Championships`、③「国民体育大会」は`National Sports Festival`、④「ワールドカップ」は`World Cup`がそれぞれ対応する表現です。

◆補足：形容詞形は`Olympic`です。`an Olympic medalist`（オリンピックのメダリスト）、`the Olympic village`（オリンピック選手村）。夏季オリンピックは`the Summer Olympics`、冬季オリンピックは`the Winter Olympics`と言います。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②の`matter`で、名詞として「問題、事柄、物質」、動詞として「重要である、問題となる」という二つの重要な意味があります。名詞の例: `It's a private matter.`（それは個人的な問題だ）。動詞の例: `It doesn't matter whether you win or lose.`（勝つか負けるかは重要ではない）。他の選択肢は、①`master`が「主人、達人」、③`manner`が「方法、行儀」、④`motor`が「モーター、エンジン」という意味です。

◆補足：`What's the matter?`（どうしたのですか？）は、相手の様子がおかしいときに使う定番のフレーズです。動詞の`matter`は、否定文や疑問文で使われることが特に多いのが特徴です。`a matter of ~`の形で「～の問題」としてよく使われます。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「実のところ」です。`as a matter of fact`は、「実のところ、実際は」という意味の熟語です。前に述べたことを強調したり、訂正したり、あるいは意外な事実を付け加えたりする際に使われます。`He looks young. As a matter of fact, he's a grandfather.`（彼は若く見える。実のところ、彼はおじいさんなのだ）。①「事は重大だ」は`The matter is serious.`、②「問題外で」は`out of the question`、③「どんなことがあっても」は`no matter what`が適切な表現です。

◆補足：`as a matter of fact`は`in fact`や`actually`とほぼ同じ意味で、文頭に置かれることが多いです。よりフォーマルな響きを持つことがあり、相手の発言を丁寧に補足する際などに役立ちます。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④「試合、好敵手、マッチ」です。名詞の`match`は、主に三つの意味があります。①スポーツの「試合、競技」。②「(力量が) 釣り合う相手、好敵手」。③火をつける「マッチ」。`It was an exciting tennis match.`（それは白熱したテニスの試合だった）。`The young boxer was no match for the champion.`（その若いボクサーはチャンピオンの相手ではなかった）。①「機械」は`machine`、②「奇術」は`magic`、③「物質、問題」は`matter`です。

◆補足：動詞の`match`は「～と調和する、釣り合う、一致する」という意味です。`The color of your shoes matches your bag.`（あなたの靴の色はバッグと合っている）。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①「(特定の) 時、機会、行事」です。`occasion`は、単なる「時（`time`）」ではなく、何か特別な出来事が起こる「時、場合」や、結婚式や祝賀会といった「特別な行事、儀式」を指す名詞です。`I've seen him on several occasions, but I've never spoken to him.`（私は彼に数回会ったことがあるが、話したことは一度もない）。`A graduation ceremony is a memorable occasion.`（卒業式は記憶に残る行事だ）。②「意見」は`opinion`、③「職業」は`occupation`、④「操作」は`operation`です。

◆補足：`on occasion`または`on occasions`で「時々、時折」という意味の熟語になります。これは`sometimes`や`occasionally`（副詞）とほぼ同じ意味です。コロケーションとしては、`a special occasion`（特別な行事）や`on this occasion`（この機会に）などがあります。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③の`exercise`で、名詞として二つの主要な意味があります。一つは、健康や体力向上のための「運動、体操」です。もう一つは、学んだことを身につけるための「練習問題、演習」です。`You should get more exercise.`（あなたはもっと運動すべきだ）。`Let's try the grammar exercises on the next page.`（次のページの文法練習問題をやってみよう）。他の選択肢は、①`excitement`が「興奮」、②`experiment`が「実験」、④`explanation`が「説明」という意味です。

◆補足：`exercise`は動詞として「運動する」や「(権利など)を行使する」という意味でも使われます。`I try to exercise every morning.`（私は毎朝運動するようにしている）。`take exercise`で「運動をする」という言い方もできます。

43.

解答 ②

【解説】

正解は②の`recognize`で、「～だとわかる、～を見分ける、～を（正式に）認める」という意味の動詞です。以前に見聞きしたことがある人や物を、再び認識することを示します。また、誰かの功績や重要性などを公式に「認める」という意味でも使われます。`I recognized her voice on the phone immediately.`（電話で彼女の声がすぐにわかった）。他の選択肢は、①`realize`が「(状況などを) 悟る、理解する」、③`recommend`が「～を推薦する」、④`remember`が「～を覚えている」という意味です。

◆補足：名詞形は`recognition`（認識、承認）です。`realize`が頭の中で「理解する」のに対し、`recognize`は目や耳などの五感で「識別する」というニュアンスの違いがあります。イギリス英語では`recognise`と綴ることもあります。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④の`compete`で、「競争する、張り合う」という意味の動詞です。スポーツやビジネスなどで、勝利や優位性を目指して他者と競い合うことを表します。`She competed against runners from all over the world.`（彼女は世界中から集まった走者たちと競争した）。他の選択肢は、①`complete`が

「～を完成させる」、②`compare`が「～を比較する」、③`complain`が「不平を言う」という意味です。

◆補足：名詞形は`competition`（競争、競技会）、競争相手は`competitor`、形容詞形は`competitive`（競争の激しい、負けず嫌いの）です。これらの単語ファミリーをまとめて覚えると効果的です。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③の`rule`で、名詞として「規則、ルール」、動詞として「～を支配する、統治する」という二つの主な意味があります。名詞の例: `It is against the rules to use a cell phone during the exam.`（試験中に携帯電話を使用するのは規則違反です）。動詞の例: `The queen ruled the country for over 60 years.`（その女王は60年以上にわたりその国を統治した）。他の選択肢は、①`role`が「役割」、②`route`が「道筋、ルート」、④`roll`が動詞で「転がる」という意味です。

◆補足：`as a rule`で「概して、普通は」という熟語になります。`break the rules`（規則を破る）、`follow the rules`（規則に従う）といったコロケーションも重要です。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③の`examine`で、何かを注意深く「～を調べる、検査する」ことや、医者が患者を「～を診察する」ことを意味する動詞です。問題の原因や、物の状態を詳しく確かめるニュアンスがあります。`The mechanic examined the engine carefully.`（その整備士はエンジンを注意深く点検した）。他の選択肢は、①`exchange`が「～を交換する」、②`exercise`が「運動する」、④`explain`が「～を説明する」という意味です。

◆補足：名詞形は`examination`で、「調査、診察、試験」という意味です。これはしばしば`exam`と略されます。`You need to have a medical examination once a year.`（あなたは年に一度、健康診断を受ける必要がある）。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②の`attract`で、「(人・注意など)を引きつける、魅了する」という意味の動詞です。人々の興味や関心を引いたり、物理的に磁石などが物を引き寄せたりすることを表します。`The beautiful park attracts a lot of visitors.`（その美しい公園は多くの観光客を引きつけている）。他の選択肢は、

①`attack`が「～を攻撃する」、③`attach`が「～を添付する、取り付ける」、④`attain`が「(努力して)～を達成する」という意味です。

◆補足：名詞形は`attraction`（魅力、人気のあるもの・場所）、形容詞形は`attractive`（魅力的な）です。`a tourist attraction`（観光名所）。`Opposites attract.`（正反対の者同士は惹かれ合う）ということわざもあります。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②の`either A or B`で、「A か B のどちらか一方」という意味です。二つ、あるいはそれ以上の選択肢のうち、一つを選ぶことを示します。`For dessert, you can have either cake or ice cream.`（デザートには、ケーキかアイスクリームのどちらかを選べます）。他の選択肢は、①`both A and B`が「A と B の両方」、③`not only A but also B`が「A だけでなく B も」、④`neither A nor B`が「A でも B でもない」という、それぞれ異なる意味を持つ重要な相関接続詞です。

◆補足：`either A or B`が主語になる場合、動詞はより近い方の B の形に一致させるのが一般的です。`Either my parents or my sister is coming to pick me up.`（私の両親か姉のどちらかが、私を迎えに来てくれることになっている）。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④「集中する」です。動詞の`concentrate`は、「(精神を) 集中させる」という意味です。`concentrate on ~`の形で「～に集中する」と表現するのが一般的です。`You need to concentrate more on your studies.`（あなたはもっと勉強に集中する必要がある）。①「～を熟考する」は`consider`、②「～に貢献する」は`contribute`、③「～を結論づける」は`conclude`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`concentrate`は`focus on ~`とほぼ同じ意味で使えます。名詞形は`concentration`（集中、集中力）です。`It's hard to maintain concentration for a long time.`（長時間、集中力を維持するのは難しい）。

50.

解答 ③

【解説】

正解は③「屋内に、屋内で」です。`indoors`は副詞で、建物の内部にいたり、または内部へ移動することを表します。`It was too hot to play outside, so the children stayed indoors.`（外で遊ぶには暑

すぎたので、子供たちは屋内で過ごした)。①「屋外に」は`outdoors`で、`indoors`の対義語です。②「ドアのそばに」は`by the door`、④「家の中に」は`inside the house`が適切な表現です。

◆補足：`indoors`（副詞）と`indoor`（形容詞）の使い分けが重要です。`indoors`は動詞を修飾し、`indoor`は`an indoor swimming pool`（屋内プール）のように名詞を修飾します。`s`が付くと副詞、付かないと形容詞と覚えると便利です。
